



突然空にかかった虹の下で星祭りが始まりました。



縄文太鼓がいのちの鼓動を響かせます。



最も色濃く縄文の精神と文化を引き継いでいるといわれるアイヌと沖縄。

縄文の仲間たちが笹山の大地で出会い、ともに歌い、踊り、つながりました。
(「ヤイレнка」と「新道エイサーたこらいす」のすばらしい歌と踊り)



笹山じょうもん市夜祭り

笹山縄文星祭り

5,000年の時を超えて、精霊たちと遊ぶ夜
平成26年(2014)6月7日(土)



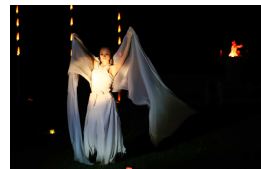
火焰型土器が東京オリンピック聖火台となり、共生と平和の縄文の心が世界に広がることを祈って、火が灯されました。



← 若者たちが火をおこします。



キユさんと推進部ダンサーズの火焰の舞。↑
そして、精霊の舞。↓



みんなで歌い、踊り、太鼓をたたき、最後は会場がひとつの輪になって縄文の雄叫びをあげました。



風の女神たちが現れ、風のころを踊ります。
そして、笹山ムラのムラ長ラマトさん
(刈谷俊介さん)の言葉を伝えます。

ムラの衆
よ、わしの
心はいつもこの
笹山の大地
にある。



笹山太鼓集団「鼓焰」がデビューです。



← 子どもたちがつくった
縄文灯火が並べられました。

